

平成23年8月4日

印西市長 山崎 山洋 様

印西市総合計画審議会  
会長 田窪 昭夫

印西市総合計画基本構想の策定について（答申）  
平成22年7月16日付け印西企第174号で諮問のあったこのことについて、本審議会において慎重に審議した結果、次のとおり答申します。

〔答 申〕

- 1 本審議会は、印西市総合計画序論（素案）及び基本構想（素案）を妥当と判断します。
- 2 将来都市像の実現のために掲げた政策への取り組みを進めるにあたり、下記の事項を要望します。

記

- (1) 東日本大震災などの大規模災害の発生に対する不安や巧妙化する犯罪などへの危機意識の高まりから、市域の防災体制の強化、防犯意識の高揚を図り、市民が安全で安心して暮らせる体制づくりを市民と行政、関係機関などとの連携により、推し進めていただきたい。
- (2) 本市の持つ水辺や里山・谷津などの豊かな自然環境を保全・活用し、後世につないでいくための取り組みを進めるとともに、都市の緑化やポイ捨て防止、不法投棄防止のための施策を展開し、美しいまちで市民が誇りをもって生活できる環境づくりを積極的に推進していただきたい。
- (3) 若者や子育て世代が定住する魅力あるまち、将来を見据えた活力あるまちを築いていくために、子育て支援や雇用の場の確保、企業誘致、さらには特色ある教育への取り組みを推進していただきたい。  
また、既存の商工業や農業への支援を継続的に進め、活力に満ちた市域となるよう努めていただきたい。
- (4) 子どもから高齢者までのすべての市民が笑顔で暮らしていけるよう、福祉や医療体制の充実に努めるとともに、健康面でも市民をサポートする体制の構築を進めていただきたい。
- (5) 将来都市像である「ひと まち 自然 笑顔が輝く いんざい」の実現に向けた政策を展開するにあたっては、その目標や成果を市民に公表するとともに、継続的な評価・改善活動を行い、確実に推進していただきたい。  
さらに、今後も社会情勢や市民ニーズを十分に把握するとともに、より効率的で効果的な行財政運営のもと、市民や事業者などのさまざまな主体との連携、協働を進めていただきたい。